

令和5年度第2回白石町総合教育会議 会議録

1 日時 令和6年1月22日(月) 9:00~9:25

2 場所 白石町総合センター 3階 大会議室

3 出席者 【構成員】

白石町長 田島健一

教育長 北村喜久次

教育長職務代理者 松尾博之

教育委員 堤王宏

教育委員 川崎姿子

教育委員 一ノ瀬ひとみ

【事務局】

副町長 百武和義

企画財政課 課長 坂本博樹

企画財政課 課長補佐 筒井直

企画財政課 政策調整係長 溝口篤

企画財政課 政策調整係 主事 武富誠弥

企画財政課 政策調整係 主事 山下彩子

学校教育課 課長 出雲誠

学校教育課 新しい学校づくり専門監 永石敏

学校教育課 主任指導主事 梅木純一

学校教育課 課長補佐 山下将史

学校教育課 指導主事 下平博明

学校教育課 指導主事 武富通

学校教育課 新しい学校づくり係長 本山雅章

生涯学習課 課長 矢川靖章

生涯学習課 課長補佐 永尾宗紹

【傍聴者】 4名

## ○筒井企画財政課長補佐

おはようございます。

会議を始めます前に、会場の皆さんにお願いいたします。携帯電話をお持ち込みの方がいらっしゃいましたら、電源をお切りになるか、マナーモードへの設定をお願いします。

本日はご多用の中、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまから、令和5年度第2回総合教育会議を開会いたします。

本日は、田島町長、北村教育長、松尾教育長職務代理者、堤教育委員、川崎教育委員、一ノ瀬教育委員に参加いただいております。

ここで、会議に先立ちまして、田島町長より挨拶をお願いしたいと思います。

## ○田島町長

皆さんおはようございます。

令和6年の新年を迎えまして20日ほどが経つわけでございますけれども改めてご挨拶をさせていただきたいと思っております。

明けましておめでとうございます。

皆さんもご承知の通り、石川県能登地方においては、16時10分頃、震度7マグニチュード7.6という大きな災害と申しますか、地震がございました。

この地震では200名以上の方が、お亡くなりになっておりまして、ご冥福をお祈りいたしますとともに、まだ行方がわからない方への救助を、さらに被災された皆さん方にもお見舞いを申し上げたいと思っております。

また、小学校、中学校、高校と、学校現場においても、不自由な状況であるということを知っております。

以前と同じような、同じとまでは言えないかも知れませんが、子供たちの一刻も早く笑顔が出てくるように、国ないし、関係機関の方にはお願いしたいと思いますし、私どもとしても、何かできることがあれば、やっていきたいと思うところでございます。

ところで教育委員会の皆様には日頃より、本町教育行政にご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

ことに本町始まって以来の一大プロジェクトであります、小中学校の再編には、並々ならぬご尽力、ご支援を賜りまして、重ねて感謝を申し上げる次第でございます。

学校再編事業はまさに、本町としまして、本町教育行政にとりまして、町史に残る一大改革でございます。

その学校再編の第1弾として、本年、4月からいよいよ新しい白石中学校が開校いたします。

令和6年にはそういった意味で感慨深い、良い年であると感じているところでございます。

中学校につづきまして、令和8年度には有明地域の小学校、令和12年度には白石地域の小学校の再編と続くわけでございますけれども、白石町の次代を担う子供たちの健やかな成長を願いまして、今後とも皆さん方のお力添えをいただきたいと思っております。

さて本日、総合教育会議を開かせていただいておりますが、本日はただいま申し上げました、令和8年度開校予定の有明地域新設小学校について皆様とご意見を交え合わせていただきたいと思いますと思っております。

短い時間ではございますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

#### ○筒井企画財政課長補佐

ありがとうございました。

それでは早速、本日のテーマに入りたいと思っております。

テーマについては、白石町総合教育会議設置要綱第4条第3項の規定により、会議の議長は、町長をもってあてると規定されていますので、田島町長より進行をお願いします。

#### ○田島町長

はい。それでは私の方で進行をさせていただきます。

本日のテーマ、小学校の再編について意見交換をさせていただきたいと思います。

まずは事務局からの説明をお願いします。

## ○本山新しい学校づくり係長

おはようございます。学校教育課新しい学校づくり係の本山です。

私の方から説明させていただきます。

昨年6月に小学校再編計画を策定しまして、令和8年4月開校予定の有明地域新設小学校に向けて新しい学校づくり準備委員会を設置して今、協議を行っているところでございます。

その中で校名について協議を行いました。

校名につきましては、公募することと決まりまして令和5年11月6日から12月8日まで公募を行いました。

公募につきまして、有明地域につきましては、全戸配布して案内をいたしました。

白石、福富地域につきましては回覧という形でしております。

その他ケーブルテレビやホームページ等でお知らせをしているところです。

その結果につきましては、応募者数が697名、校名数でいきますと211件となっております。

応募の内訳は以下の表の通りとなっております。

その公募結果を受けまして1次選考を令和5年12月14日に開催いたしました。

第3回総務部会において行い、7候補まで絞り込みを行っております。

この時はグループにわかれて、そのグループでそれぞれ協議をしていただき取りまとめ、さらに最後全体で七つに絞ったところでございます。

校名につきましては応募数は関係ないといいますが、多かったから決まるものではないというところで公募しております。

しかしながらやはり、応募数は大きな根拠になるだろうというところで、そこを公表してくれということがありました。

上位の応募件数を言いますと、やはり「有明」が一番多く、325の応募となっております。

ひらがなの「ありあけ」が55、「有明みのり」が31と続いております。

全体見ましても「有明」を含むものが546名ということで、全体の80%近くが「有明」を含む校名となっております。

総務部会で絞り込まれた校名は、漢字の「有明」ひらがなの「ありあけ」、

「有明みのり」「有明みらい」「有明ゆたか」「有明中央」「みのり」となっております。

そして2次選考を先週1月16日、第4回新しい学校づくり準備委員会全体会におきまして行いました。

この2次選考では3案程度に絞り込みを行う予定として進めたところでした。

絞り込みの方法としましては、投票ということになり、1人二つまで選んで投票をしていただきました。

その結果、3案程度とっておりましたが上位二つとその以下がかなり離れておりましたので、2案に絞り込みを行いました。

その2案につきましては、漢字の「有明小学校」とひらがなの「ありあけ小学校」となっております。

一枚めくっていただきまして、2枚目の方に応募していただいた方の校名にこめられた思いというものをつけております。

まず漢字の「有明小学校」。

『有明の三つの小学校が一つになるから』。これは小学生です。

『有明中学校の後を継いでほしい』。これは中学生ですね、やっぱり有明中学校がなくなるといった思いもあったと思います。その後を引き継いでほしいと。

『誰にでもわかりやすくシンプルに』。やっぱりどこにあるか分かりやすく、そういったところかと思えます。また、『特にひねらなくて良い』と。

『有明地域唯一の小学校となり、元々の3校とも有明の中入っているため、これ以外には考えられない』。

やっぱり3町の合併によって、『有明という地名がなくなったので、せめて小学校の名前だけでも有明という名前を残してほしいと思っています』。この意見はかなり多かったです。

ひらがなの「ありあけ小学校」、こちら漢字の「有明」と想いは一緒かと思えます。

その他で言いますと、『ひらがながポイント』であると。

また『小学校なので優しく、ひらがながいい』といった意見がっております。

次に今後のスケジュールです。

本日、総合教育会議を開催し、この後、町長、教育委員さんの方で意見交換を行っていただきたいと思います。

終了後、定例教育委員会を開催しましてそこで最終選考をしたいと思っております。

それをもって令和6年3月議会に、学校設置条例の改正案を上程したいと思っております。

ここで議決をいただきましたら、有明地域新設小学校の設置が正式に認められるというような形になります。説明は以上です。

#### ○田島町長

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局の方から、校名の選定について応募から、1次選考2次選考への経過経緯、また、今後のスケジュールについての説明があったわけですが、委員さんの方から何かご意見等はないでしょうか？

#### ○一ノ瀬委員

新しい学校づくり準備委員会で二つの候補に絞られたということで、この二つについては、有明地域に私住んでおりますけど、これが妥当なんじゃないかと賛成です。

そして地域の方々も、まだ決まってもいないのに、話の中では有明の小学校と言わず、「有明小学校」と、決まったかのごとく話されています。

そういうことに関して言えば違和感は全くない2案だと思います。

それで、3町合併後、この5番の、有明の地名がなくなったという意見は、すぐ皆さん言っておられて、学校名だけにしか残ってないという思いは有明の方々には強いと思われまます。

では、ひらがなにするか有明の漢字にするかということですが、この漢字は小学校でも習う漢字で難しい漢字でもないのに、ひらがなにする必要性は私は感じていません。

#### ○田島町長

はい、ありがとうございました。

一ノ瀬委員さんは有明地区にお住まいということで、まだ公表されていないですけれどもいろんな意見を直接聞かれての発言だったと思います。

有明以外にお住まいのお方たちはどうでしょうか？

#### ○松尾教育長職務代理

はい、私も有明っていう地名を残すっていうのはとてもいいことだと思います。

小学生だから、ひらがなにする必要は私もないと思います。

福富小学校も残るわけなんで、福富と有明という形でいいんじゃないかと思います。以上です。

#### ○田島町長

はい、ありがとうございます。他にはございませんでしょうか？

#### ○堤教育委員

小学校再編についてはいろいろちょっと変更とかもありましたけれども、最終的には小学校については地域性を大事にしていくという形の学校作りをするという方向性が示されて、住民の合意形成も取れてると思います。

そういう意味では、有明地域にお住まいの方々とか子供さんたちが、ふに落ちるような名前が一番いいんじゃないかなと思います。

それが一番大事な大切なことかなと思うところです。

もう一つは小学校の名前はあんまり奇をてらったような名前とかではなくて、例えば外から見て、どの地域のどの辺の子たちがそこに通っているんだというのがある程度わかりやすいというのも非常に大切なことなんじゃないかなと思います。

名前を聞いてこれどこの学校っていうふうに外の人が思われないっていうのも非常に大切なことかなと思いますので。

私も大体皆さんと同じような感じで感じているところです。以上です。

#### ○川崎委員

##### ○川崎委員

公募の数もとても多くて、その中でも8割が有明を含んでいたというところが皆さんの意見をとっても反映されてるんじゃないかなと思っております。

私もこの有明という名前が学校名に入ることは、賛成です。

#### ○田島町長

そうですね。やっぱり応募結果の中で、有明という字が入って546と、80%ぐらいが有明というのが一つ。

その中でやっぱり1番2番が、漢字の「有明」とひらがなの「ありあけ」ということが、あるわけでございますので、やはり2次選考で、挙げられた漢字とひらがなで、いいのかなと思います。

貴重な意見、いろいろとありがとうございました。

これについてはまた後の会議で決定をされていくんですかね。ここで決定ということじゃないですよ。（事務局から後の会議で決定するとの声あり）

#### ○北村教育長

二つの校名に、準備委員会の方で絞っていただきました。

その理由の中にやっぱり地名がなくならないっていうのが出ています。

申すまでもなく中学校よりも小学校は遥かに地域と密着してますし、やっぱり地域コミュニティの核、我々が学校っていう思いが、住民の間にもものすごく強く出ると思います。

この有明がどうして名付けられたのだらうと思ひ、ちょっと教育長として調べてみたんですけど、なかなか分からなかったんですが、初発は明治20年に竜王、錦江、南有明村というこの三つになってるんですね。

だから牛屋あたりがまとまってるわけです。

有明海の有明なのか、それとも有明っていうのが、朝日が上がってきたときにまだ月が残っているという状況ですから、そんなに早くから、勤勉に動くっていう意味なのかわかりませんが、その後、昭和30年の4月に、錦江と竜王が有明村になり、合併になったんですよ。

そしてその年の9月に南有明村と有明村が一緒になって、有明になってるような経緯があるようです。



そういった中で、有明っていうのが学校にしか残らないっていう声が聞かれますので、やっぱり学校名としてこの有明っていうのを残すという思いというのは非常に地域住民の方には強いかなと思ひ、この流れは妥当かなと思つたところでは。

#### ○田島町長

それでは、次に入らせてもらいたいと思ひますがいいですかね。

次は、その他となつています。

委員の皆さんから何か改めてここで協議するとのことご意見ありませんか。事務局は何か。別にないですか。

委員さんの方からも事務局からもないということでございましたので、本日予定の議事は全て終了をさせていただきました。

司会も事務局にお返ししたいと思います。

#### ○筒井企画財政課長補佐

田島町長、教育委員の皆様、お疲れ様でした。

これをもちまして、令和5年度総合教育会議を閉会いたします。

お疲れ様でした。